

「華かがり」「美濃娘」「濃姫」

県産フェア魅力PR

カネ井青果



店頭に並ぶイチゴを買い求める来店客ら＝岐阜市橋本町、カネ井青果アクティブG店

県産イチゴの魅力をPRする「岐阜いちごフェア」が25日、岐阜市橋本町のカネ井青果アクティブG店で始まった。26日まで。

「岐阜いちご」の収穫、出荷が本格化するのに合わせて毎年、JA全農岐阜とカネ井青果（岐阜市）が開催。店入り口に特設コーナーを設け、「華かがり」「美濃娘」「濃姫」の3品種を並べた。食べ比べできるように試食も用意した。2日間で1800パックを用意し、「華かがり」は

1パック594円、ほかの2品種は540円で販売。午前中からひっきりなしに買い物客が来店し、「500円台なんて安い」と、箱ごと購入する人もいた。

JA全農岐阜の担当者によると、例年12月ごろにイチゴの出荷が本格化するが、夏と秋の猛暑の影響で全国的に生育が遅れ、市場に出回る量が減り価格が高騰。今月中旬に入り、ようやくくまとまった量が出そろったという。店の担当者「3品種とも食べやすい品種。小さい子にも味わってもらいたい」と話した。

県内では同社のアスティ大垣店と瑞穂店でもフェアを開催。大垣店は3月2日までの土日祝日に開催する。（佐名妙予）